

会議議事録

会議名	長岡市交通バリアフリー基本構想策定委員会第3回委員会
開催日時	平成14年2月6日14時～15時40分
開催場所	長岡グランドホテル悠久の間
出席者名	<p>■委員長 齋藤 純</p> <p>■委員 佐藤 愛子 佐藤 佳代 田井 健一 太刀川 武 藤井 良治 増田 くみ 若月 トキ(源川委員代理) 能登 優一 和田 茂秋(加藤委員代理) 千野 正夫 桑原 敏幸 小林 浩也 丸山 澄夫 木本 二郎</p> <p>■オブザーバー 新潟運輸局 高橋専門官</p> <p>■委員随行者 長岡土木事務所 井上主査</p> <p>■事務局 都市整備部 小林部長 防災課 小林主任 福祉総務課 井上主事 道路管理課 稲川係長、田辺技師 都市政策課 中沢課長、佐藤係長、高頭主任</p>
欠席者名	なし
議題	交通バリアフリー基本構想素案について
審議結果の概要	基本構想素案として了承
主な意見内容	
<p>この基本構想の内容が実現すれば大変素晴らしいものと思います。また、車いすの方がお客として来られるなかで、通路が狭かったりしますので、これから店側でも工夫していく必要があるということを実感しております。</p>	
<p>高齢者センターの利用者が多いという結果があり、デイサービスセンターも重点整備地区内に含まれていますので、整備されるとありがたく感じます。また、違法駐輪等への啓発活動など盛り込まれているので、大変いいことだと思います。私も小学生の子どもがいますので、「ともしびっこ」などで子供の頃から福祉教育していくことは重要だと思います。</p>	
<p>駅東口周辺の道路が全く整備されていない現状があります。小学校中学校高校の</p>	

自転車がごった返しており、歩道の整備を何とかしてもらいたいと思います。阪之上小学校もあり、その道路も考えていく必要があるかと思っています。有効幅員も、現在の状況は人がすれ違えるのがやっとの状況であり、最低でも1.5~2.0mは確保していただきたいと考えております。

一昨年より、大手通りのような大きな通りだけでなく、殿町の雁木の下にも誘導ブロックが敷設され、冬の日でも利用しやすくなりました。また市役所に音響案内が設置されありがたく思っております。長岡駅については、身体障害者トイレの設置はありがたいものですが、荷物置きを置いてほしいという意見を聞いております。またトイレトペーパーも、持ち帰る人がいるためか、置いていない場所がありますが、身体障害者用トイレだけでもトイレトペーパーを常備してほしいと思っています。また発信器で作動する音声案内を設置していただければと思います。バスでは、平成9年より低床バスが導入されてきており、ありがたく思っております。駅ロータリーでの音声の行き先案内など、誘導の工夫をお願いしたいと思います。

看板類の設置に留意すべきだと認識しております。その中で、啓発活動の実施は大変重要なものだと考えております。

啓発活動の実施が重要だと考えております。ハード面での整備だけでは限界があると思いますし、実現するにしても時間がかかるものだと思います。ハードで足りない部分をソフトで補っていくことが必要なのだと思います。

歩道幅員が狭いところが多くあります。自転車なども通行しますのもっと幅員を広げていただきたいと思います。車道を老人の三輪や四輪が通行できないでしょうか。免許のない高齢者にとってはバス便が必要ですが、幹線道路だけでなく、その他の道路にもバスの便数などを増やしていただければと思います。

今回の重点整備地区内には国道工事事務所の管轄はありませんが、外部には国道8号、17号があり、例えば地下横断施設もこれまで階段のみだったものを改修し、スロープを設置出来ないか検討しています。重点整備地区には含まれませんがそれに準ずるような整備を実施していきたいと考えています。3月5日には県内市町村を対象に都市政策課の方にも参加いただいて「バリアフリーの道路整備について」の説明会を実施する予定です。

10年以内の限定期間ではできないこともあります。ハード面に関しては、簡単にできる整備もあれば、そう簡単にはできない整備などがありますが、努力していくつもりです。ソフト面での社員教育などは重要だと考えます。来年度には社としてできることとできないことを整理していきたいと考えております。ご指摘のあった荷物置き場やトイレトペーパーの件などは、先程の整備でいえば簡単な方になりますのですぐにもできる内容です。音声については検討が必要です。

毎年5%の乗客数が減少しており前年度は6.3%と経営上厳しい状況にあります。また、環境対策による排ガス規制、交通バリアフリー法の施行に伴う通常の車両単価額より600万円高いノンステップバスの導入など、さらに厳しい状況は続いております。ソフト面ではさらに社員教育にも力を入れていきたいと思っています。ご指摘に

ありました件については努力していきたいと思っております。バスの充実ですが、路線毎に検討していきたいと思っておりますが、採算路線から間引いていくと客不足がさらに深刻化するといった悪循環があることもご理解いただきたいと思います。

前回の委員会で懸案になっていました大手通の自転車通行に関しまして調べましたのでご報告します。大手通は基本的に自転車通行可です。今標識は特にありません。29ページに示しています音響信号機と信号機の感知式については10年以内に設置の方向で考えています。ソフト面では、違法駐車、停車とも法定禁止区間がありますが、沿道の商店の搬入等がありますので、あまりにもひどい場合は、いきなり取締というのではなく、指導、警告、取締という順番を経ますので、その点も考慮したいと思っております。放置自転車については長岡市とマナー教育を実施しています。違法駐車を見つけた場合、盗難品か否かを確認し、持ち主へ連絡して、必要な対策を取っていきたく思っています。

ソフト面は地道な努力が必要で実現に大変な時間を有しますが重要な課題と思っております。

県では「バリアフリーまちづくり事業」で整備を進めております。これらの事業も今回の基本構想での事業も既存道路の改良であり、背後民地、車道等の高さを調整する必要があり、調整する必要があります。今回、方針では「努力する」という書き方になっているのも、その点の調整が可能かどうかの判断が現段階では明確になっていないため、今後、実施が可能かどうか検討していきたいと思っております。

ソフト面については、自転車の駐輪場で、当初20%程度であったものが、名札を付けるなど地道な努力をしてきた結果利用率が60%、80%と増えてきている実績があり、こういった活動がこれからも必要だと思っております。ハード面では、例えば幅員2メートルは現実的には難しい場合があり、それについては、地元の住民の方々や、当事者の方々にご意見を聞きながら勧めていく必要があると思っております。進めていくためにはこの委員会の下部組織のような機関の設立が必要かと思われれます。

各事業の方針の中で語尾が「とする」「を図る」「実施する」などがありますが、現段階で断定するのはいかがなものかと思われれます。

長岡駅の盲導鈴は非常に低音域すぎ、音が拡散し聞こえにくい現状があります。新潟駅や亀田駅のように新しいタイプの高音域のものを設置するのは難しいのでしょうか？

バスですが、これは直接バリアフリーに関連するものではないかも知れませんが、モラルの点でドライバーと乗客が相互に声を掛け合う「一声運動」というのも必要なのではないのでしょうか。

全国で8市町村が既に基本構想を策定しております。そのうち亀田町は既に基本構想を策定していますが、まだ公表していませんので、国土交通省で受理している数は7市町村になります。

これはどの市町村でも問題になっていることですが、やはり駅舎内について、既存

の施設については努力義務とあるため、なかなかバリアフリー化が困難という状況があります。また特定経路の指定も、実際に道路幅員が2.0m以下のものに関しては道路買収を伴い、10年間で実施するのは困難です。こういった質問がやはり本省にも寄せられており、現段階では、法律上特定経路は2.0m確保というのが回答となっています。

29ページは断定的な表現と、努力するといった内容が混在していますので、現段階ではまだ素案ですので努力表現に統一したいと思います。

来年度もこの委員会は継続しますが、中間検討の結果としてこれで委員会を閉じたいと思います。最後に新潟運輸局にお話をお願いします。今回の資料を中間報告としてまとめて公表し、住民のみなさんからご意見いただき、次回委員会を6月頃に開催したいと考えております。